

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 20日

事業所名 ふるさとの森ひろば

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	・2グループに分かれて活動している。	・児童発達支援事業も併設しているため、長期休みは自由に使用できる居室が限られている。空間を有効活用して安全かつ動きやすい環境設定に努めたい。
	2 職員の配置数は適切である		○	・多機能型の機能を活用して児童発達支援の職員に手伝いをもらっている。	・多くの支援が必要な児童が増えてきているので、充実した支援を提供できるよう年間を通して専門性のある職員の募集も行っていきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・バリアフリー化が必要な児童の体力や運動機能が発達してきて段差等は介助があれば超えられるようになってきている。安全面に考慮できるようにバリアフリー化が必要な箇所を見極めて対処していきたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・法人全体で行っている。	・法人内で3つの業務改善グループと2つの委員会に分かれて日々の業務と利用者・児童のより良い支援の為に検討会・実施している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・アンケートはもちろん、連絡帳や送迎時の意見や相談事にも真摯に返答し、支援の改善に繋がるようにしていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・法人で行っている。	・結果を事業所の運営と支援にいかしていきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・法人で行っている。	・結果を事業所の運営と支援にいかしていきたい。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月1回、外部からの支援指導を受けている。	・外部にでて研修する機会はまだまだ少ないがズームによる研修や法人内研修、外部講師指導を行っている。今後はより多くの研修の機会を作って積極的に研修・勉強会に参加したい。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者、学校、相談員から得た情報をもとに計画を作成している。	・スモールステップで実現可能な計画となるように努めていきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		・MAS行動分析ツールがあるが、活用しきれていないので、上手に活用して支援にいかしていきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・担当制で行っている。	・今後もより良い活動を提供できるよう活動後に振り返りを行い、活動内容の再検討・再構築を重ねていきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・活動を振り返り、改善する箇所は改善している。	・今後もより良い活動を提供できるよう活動後に振り返りを行い、活動内容の再検討・再構築を重ねていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・長期休暇にしかできないことや季節行事を多く取り入れている。	・今年は環境未来館と丸武、地域文化際の見学に出かけることができた。来年度も公共施設を利用することで社会体験を積んでいきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個々の好きな遊びを調査し玩具や教材を提供している。	・実態や興味関心事に合わせた教材や玩具を取り入れて個々のニーズに沿った活動となるよう今後も配慮していきたい。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・受け入れ前に利用人数、活動主旨、役割分担、送迎者、前日の特記事項等を確認している。	・前日の振り返りと特記事項の確認を行うことで全職員共通理解の下、支援に携わっている。今後も継続していきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・特記事項はその日のうちに共有・検討するようにしている。	・送迎の関係でその日のうちに行うことは難しいがその日のうちに周知・検討すべき事項は全職員で振り返りを行っている。長期休みも行えるよう日課の検討も踏まえて改善していきたい。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の生活面と活動の様子を記録している。	・支援の検証・改善に繋げられるような記録の取り方にも工夫していきたい。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・必要に応じて行っている。	・今後も定期的に行い、必要に応じて行っていきたい。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・新任職員には研修期間に熟読してもらっている。	・ガイドラインに沿った支援を提供できるよう、ガイドラインを念頭に置きながら支援に努めたい。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○	・児童発達支援管理責任者が参加している。	・引き続き、必要に応じて児童発達支援管理責任者以外の参加する者も検討していきたい。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	○	・前月に来月の利用予定者リストを送付している。また特記事項はその都度連絡を取り合っており対応している。	・迎え時に相互に情報交換・共有を行っている。また夏休みには一部ではあったが利用児童の担任が見学に来られて情報交換を行った。今後も継続して行ってきたい。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	○	○	・医療的ケアの必要な児童の受け入れは行っていないが、緊急時は法人内の医療部に診てもらい対応している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	○	○	・移行支援シートを提供してもらい、全職員で周知徹底している。	・必要に応じて行ってきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	○	○	・今年度は担当者会議で行うことができた。	・必要に応じて移行支援シートを活用して実施していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	○	○	・地域の児童発達支援センターが主催する研修会に参加した。	・児童発達支援事業所の職員が参加し、研修報告を行っている。今後も積極的に研修・勉強会に参加し支援力の向上に努めたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	○	○	○	・同法人の普通学校対象の放課後等デイサービス事業所の児童との交流はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	○	○	・法人の代表が参加している。	・同法人の児童支援事業所の児童発達支援管理責任者の代表が地域の児童発達支援事業所の連絡会には毎回参加し、情報収集・共有を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	○	○	・連絡帳や送迎時に情報交換・共有を行っている。	・引き続き保護者に寄り添って一緒に成長を見守っていきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	○	○	○	・今後、研修に参加して実践していきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	○	○	・利用契約時に行っている。	・引き続き、必要に応じて行ってきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	○	○	・相談を受けた時は連絡帳や電話、送迎時に返答している。	・保護者の方が求める助言と支援ができるよう研修や勉強会を行い、支援力をつけていきたい。またペアレントトレーニングも実践できるよう研修等に参加したい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	○	○	・行事に参加してもらい、交流する場を設けた。	・今後は保護者会や親子で参加できる行事等を計画し、多くの交流の場を設けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	○	○	・意見をいただいたときはその日のうちに返答するよう心掛けている。	・引き続き必要に応じて行ってきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	○	○	・月1回事業所便り、年4回法人便りを発行している。	・引き続き、必要に応じて行ってきたい。
	35	個人情報に十分注意している	○	○	○	・個人情報の取り扱いについての研修を行った。	・引き続き、十分配慮していきたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	○	○	・視覚支援やわかりやすい言葉を使用するよう心掛けている。	・意思疎通や情報伝達がスムーズに行えるよう構造化や視覚支援を強化していきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○	○	・地域にある法人の商店に作品を展示した。	・コロナ禍で実施できていないか、できる範囲の方法で地域の方々にアピールしていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	・コロナ感染対策、送迎車安全マニュアルは全職員に周知徹底した。	・マニュアルを熟読し、周知徹底に努めたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・年に4回の事業所内災害訓練と年に1回の消防署立ち合い訓練を実施している。	・引き続き、実施して非常時に備えたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・事例を検証している。	・事例検証を行い、虐待に繋がらない支援に努めたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	・該当者なし	・現在は該当者がいないが、身体拘束をする必要な児童が出てきたときは、必要かどうかを見極めて保護者の承諾と丁寧な説明を行い、計画書を作成した上で実施するようにしたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・利用契約時にアレルギーの有無を確認している。	・今までなかったアレルギーが出てしまった児童がいる。随時保護者から状況を収集し、実態に合わせたおやつ提供に心掛けたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・月1回集約して検討会を実施している。	・引き続き、検証しヒヤリハットを未然に防ぎ、大きな事故や怪我等に繋がらないように努めたい。